



所属施設： 受験番号：

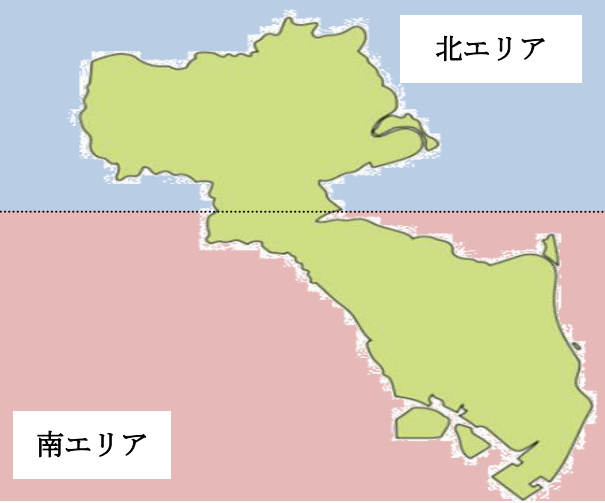
氏名：

理念・運営	計算	知識	合計
／26	／18	／56	／100

「理念・運営問題」 理想所要時間 20 分

1. デイサービスを成功させるためには、「ここに来たい！」と選ばれる理由（他社にはない魅力）が必要です。そのために、顧客ニーズや地域特性、競合他社をリサーチし、自社の強みを生み出すことが求められます。あなたは自社のデイサービスの新規事業の担当者として、以下の問いに答えなさい。（8）

＜事業対象エリア N 市＞



N 市 人口 48 万人 高齢化率 25.0%	
北エリア（人口 13 万人 高齢化率 30.0%）	南エリア（人口 35 万人 高齢化率 20.0%）
＜地域特性＞ 山間部で狭い山道が多い。 75 歳以上の独居高齢者や高齢者世帯が多く、 要介護度も高い。	＜地域特性＞ 平野部でインフラが整備されている。 若年層と 75 歳未満の元気な高齢者が多い。
＜競合他社の特徴＞ 小規模や通常規模デイサービスの件数が多い。 トレーニングマシンを使用したパワーリハビリを 提供する事業所が多い。	＜競合他社の特徴＞ 交通の便が良く、大規模デイサービスを中心に事業所 数が多い。 外部講師による本格的なスクール・趣味活動が多彩。

（1）N 市の情報を踏まえ、事業所の拠点となるエリアおよび事業所規模を選択し、エリアと規模の利点と、規模を活かした特徴（強み）を考えなさい。

特徴（強み）は、選択した拠点において効果的かつ効率的に集客が期待できるものとします（配点 2×2）

【拠点】どちらかに○ 北エリア（山間部） ・ 南エリア（平野部）	【事業所規模】いずれかに○ 小規模 ・ 通常規模 ・ 大規模
【あなたが選んだエリアと規模の利点】 例：南エリア＋小規模に○・・・ 一人ひとりに対して手厚く対応でき、家庭的な印象を利用者や家族、ケアマネに与えることができ利用者が集まりやすい	
【規模を活かしたサービスの特徴（強み）】	

（2）慢性的な人材不足の課題を抱える介護業界で、効率的かつ効果的に人材の募集や確保を行うことが求められています。（1）で選択したエリアの特性を理解し、人材募集における課題を挙げ、エリアの特性を活かした募集方法を提案しなさい。（配点 2×2）

（1）で選択したエリアに○ 北エリア（山間部） ・ 南エリア（平野部）
選択エリアにおける人材の課題
選択エリアでの求人方法



2. 高齢者施設で起こるコンプライアンス違反には「利用者や家族に対しての違反（介護保険制度に関わるもの）」と「従業員間で発生する違反（労働関係法令に関わるもの）」があり、どちらの違反であっても許されるものではありません。コンプライアンス違反で事業が指定取り消しになれば、事業所だけでなく利用者やスタッフにも取り返しのつかない事態に陥ってしまいます。コンプライアンスを意識した施設作りについて、以下の問いに答えなさい。（10）

（1）あなたは高齢者施設の施設長です。あなたの施設で下記のようなコンプライアンス違反が発生した際にとるべき行動を答えなさい。（配点 2×3）

- ①介護スタッフAが介護中に利用者の肘を車椅子にぶつけてしまいました。すぐに肘を確認したが傷もなく上司も忙しそうだったので後日報告しようと思い帰りました。その後痛みが出てきた利用者が家族に伝え、家族からクレームが入りました。

--

- ②介護スタッフBは後輩思いで、困っているスタッフがいると残業して業務を手伝ってから帰っています。お昼に自分の休憩時間を削って手伝うこともしばしばあります。周囲のスタッフが心配して声をかけても、「自分が好きでやっているし、残業申請もしていないから大丈夫」と聞く耳を持たない状態です。

--

- ③訪問介護のヘルパーCは仕事熱心なあまり利用者に頼まれたら、庭の草むしりやケアプランにない家事も断れずに行っていました。他のヘルパーがルール通りに援助した際に、利用者から「他のヘルパーは何もしてくれない、Cさんだけに来てほしい」とクレームが入りました。

--

（2）管理職に管理責任があるとはいえ、管理職だけがコンプライアンス違反を意識しても事業所全体を大きく変えることはできません。スタッフに常にコンプライアンスの意識を持ってもらうために、継続して行う取り組みを考え、その取り組みを行う理由とあわせて答えなさい。（配点 2×2）

取り組み内容	
取り組む理由	

3. 高齢者施設における看取り介護の取り組みについて、以下の問いに答えなさい。（8）

- （1）看取り介護の円滑な実施のために、厚生労働省は「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」を改訂し、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の普及を推進しています。介護保険制度の看取り介護加算やターミナルケア加算算定の過程においても実施が求められるACPですが、ACPを行うことで看取りにおいて期待できること、解決できる課題を答えなさい。（配点 2）

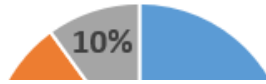
※ACPとは・・・「もしもの時のために将来の医療・ケアについての事前の話し合い」のことです。別名「人生会議」とも呼ばれています。

--

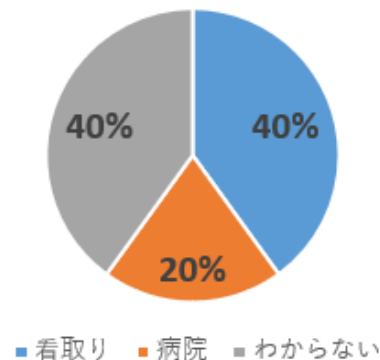


- (2) 特養 A では、昨年の退所者のうち約 50% が病院で死亡する結果となりました。そのうち意思確認書で施設での看取りを希望していた人は 40% でした。
特養 A のように病院で最期を迎える入居者が多い施設は、施設での看取りを安心して選んでもらえるように取り組んでいく必要があります。
次の問いに答えなさい。 ※意思確認書・・・入所時に終末期をどこで過ごしたいかを確認した書類

病院で亡くなった方の年齢の内訳



意思確認書での
終末期を希望する場所



- 1) 左記の年齢構成をふまえ、施設として看取り介護をタイミングよく行えなかった主な要因を答えなさい。
(配点 2) <80 代 : 30%、90 代 : 60%、100 以上 : 10%>

- 2) 特養 A の入所者・家族のうち、意思確認書で施設看取りを希望されている割合は全体の 40% です。
今後、更に看取り介護を受け入れていくなかで、看取りの場面に不安を抱く新人職員への支援として、リーダーが
どのような働きかけやフォローを行うべきか述べなさい。(配点 2)

- 3) 特養 A の現状をふまえ、家族が「施設での看取り」を具体的にイメージでき、安心感を持ってもらえるように案内文を作成することになりました。
特に、「90 歳代という年齢に合わせた自然な変化」や「急変時にどう対応するか」といった、特養 A で課題となっていた部分を丁寧に説明する構成にしています。
案内の構成は「Ⅰ.施設での看取りについて」、「Ⅱ.私たちが大切にしていること」、「Ⅲ.具体的なケアの内容」、「Ⅳ.急変時の対応について」、「Ⅴ.最後に」です。
下記案内文に盛り込むべき内容をⅡ、Ⅲ、Ⅳのうち、どれか 1 つ選び、答えなさい。(配点 2)

施設での看取り介護に関するご案内（説明書）

いつか訪れる「最期の時」を、住み慣れたこの施設で、ご本人らしく穏やかに過ごしていただくために、当施設では下記の考え方にに基づき、心を込めてお手伝いさせていただきます。

Ⅰ. 施設での看取りについて

私たちは、無理な延命治療（管による栄養補給や心肺蘇生など）ではなく、今ある苦痛（痛みや息苦しさ）を最小限に抑え、「自然な最期」を迎えていただくことを大切にしています。病院のように検査や治療を繰り返すのではなく、おひとりおひとりの生活の質を守り、寄り添うケアを優先いたします。

Ⅱ. 私たちが大切にしていること（ACP の実施）

Ⅲ. 具体的なケアの内容

Ⅳ. 急変時の対応について

Ⅴ. 最後に

看取りの時期は、ご家族にとっても大きな不安や迷いがあるかと思います。どんなに小さなことでも構いません。私たちスタッフにご相談ください。ご本人にとっての「最善」を、共に考え、共に歩んでいきましょう。

【いずれか 1 つを○で選択】	「Ⅱ.私たちが大切にしていること」	「Ⅲ.具体的なケアの内容」	「Ⅳ.急変時の対応について」



「計算問題」 理想所要時間 20 分

あなたが所属するデイサービスでは、利用者数の安定と経営改善を目的として、稼働率の向上や新規利用者の獲得に向けた取り組みを検討しています。
現在の運営状況をふまえ、利用者の増減が事業所の稼働率や収支に与える影響を把握し、今後の運営方針を検討する必要があります。
右記の表を参考に（１）～（４）の設問に答えなさい。

（１）現在のデイサービス事業所の運営状況について答えなさい。（配点 1×4）

① 今月の利用者数は（ ）人であり、売上は（ ）円です。

② 今月の人件費は（ ）円であり、人件費率は（ ）%です。

（小数点は第 2 位を切り上げ）

	定員 30 人 今月（22 日稼働）
稼働率	90%
実人数	72 人
中止・辞退人数	1 人
新規人数	3 人
利用者 1 人あたりの売上	6,800 円
常勤換算人数	8.5 人（内介護職 4.5 人）
常勤 1 人あたりの人件費	300,000 円
その他経費	950,000 円

（２）現在の稼働率をうけて、3 ヶ月後には定員を 35 人に増員する予定となり、そのために試算をすることになりました。（配点①1、②1×2 + 2、③2）

① 常勤が週 5 日勤務の 1 日 8 時間労働であるとき、週 4 日勤務の 1 日 8 時間労働の介護職を新たに雇用した場合、介護職の常勤換算人数は（ ）人となる。

② 他の職種の雇い入れを行い、スタッフの常勤換算人数は 10.5 人となる予定です。

人件費率が 63%と試算したとき、人件費は（ ）円であり、売上は（ ）円必要です。

そのためには 22 日稼働で稼働率（ ）%以上でなければならない。（小数点第 2 位を切り上げ）

③ 人件費率を 63%としたとき、利用者 1 人あたりの売上 6,800 円では達成が困難であると考えました。

定員 35 名（22 日稼働）で稼働率は 90%とした場合②の売上を目指すには単価が（ ）円である必要がある。

（３）定員を 35 人にした時でも 90%の稼働率を維持するための計画を立てようと考えています。（配点 1×5）

① 上記の定員、稼働率、の場合 3 ヶ月後の利用者数は 1 日あたり（ ）人増加する必要があります。（小数点第 2 位を切り上げ）

② 利用者 1 人あたりの平均利用回数は月 8 回です。毎月 2 名の中止・辞退があると見越した上で 3 ヶ月後の実人数の必達すべき目標人数と各月の新規者数を表の中に記入し、3 ヶ月～2 ヶ月前の戦略と当月の戦略を記入してください。

	定員	稼働率	実人数	新規数	中止数	戦略
現在	30 人	90%	72 人	3 人	3 人	
3 ヶ月前	30 人			()人	2 人	
2 ヶ月前	30 人			()人	2 人	
当月	35 人	90%	()人	()人	2 人	



- (4) 今後の定員増加に向けて 100 万円の設備投資を行うことになりました。あなたは部下に投資資金の回収までに必要な顧客数を試算するように依頼したところ、「1,000,000 円÷6,800 円（単価）で 148 人です。」と報告がありました。この計算では不十分だと考えたあなたは部下にどのように説明しますか？（配点 2）

≪知識問題≫ 理想所要時間 50 分

1. 介護保険制度と介護報酬改定について、以下の問いに答えなさい。 <介護支援分野> (6)

介護保険制度と介護報酬改定は、原則、3 年に 1 回同時に見直される。

2024 年は、介護・医療・障害福祉のトリプル改定となり、介護職員に対し（ ① ）加算の一本化による賃金のベースアップが図られ、全体の介護報酬は（ a ）%のプラスとなった。

一方で、訪問介護の身体介護、生活援助サービスの単価はマイナス改定となり、小規模や中山間地域の訪問介護事業所の撤退や縮小が社会問題化した。

(4)

厚生労働省は（ b ）年に期中改定を決定。この改定は介護職員の（ ① ）を目的としている。介護報酬を全体の約（ c ）%引き上げられ

(3)

る見込みである。

- (1) 上記文章の①には同じ言葉が入ります。当てはまる言葉を答えなさい。（配点 1）

- (2) （ ）の a～c に当てはまる適切な数値を以下から選びなさい。（配点 1）

① a. 0.70 b. 2026 c. 1.59

② a. 1.59 b. 2026 c. 2.03

③ a. 0.70 b. 2027 c. 1.59

④ a. 1.59 b. 2027 c. 2.03

- (3) 文章内の下線 (3) について、期中改定がなぜ行われるか、介護業界の課題や社会的背景をもとに答えなさい。（配点 2）

- (4) 厚生労働省によると、訪問介護事業所の年間の廃止事業者数は 2023 年に 339 件、マイナス改定となった 2024 年は 376 件と更に廃止事業者が増加しました。小規模または山間地域にある訪問介護事業所が、他の訪問介護事業所と比べて廃止リスクが高い理由を答えなさい。（配点 2）

2. ケアマネジャーの業務内容や人材定着について、以下の問いに答えなさい。 <介護支援分野> (6)

- (1) ケアマネジャーの業務に関わる介護報酬について、適切なものを 2 つ選びなさい。（配点 1 × 2）

① ケアマネジャー 1 人が居宅介護支援で得られる介護報酬は 1 カ月につき 44 件であり、それ以上は減額の対象となる。

② 居宅介護支援費は、要介護度に関わらず居宅サービス計画書の作成件数に応じて一律の介護報酬が支払われる。

③ 「居宅介護支援」は居宅介護支援事業所のケアマネジャーが行うが、「介護予防支援」は地域包括支援センターのケアマネジャーのみが行うことができる。

④ 特定事業所加算の算定要件は、常勤 2 名以上のケアマネジャーを配置し、うち 1 名は主任ケアマネジャーである必要がある。

⑤ ターミナルケアマネジメント加算は、利用者が亡くなる 14 日以内に 2 日以上 of 居宅訪問をし、訪問看護の看護師と情報共有を行う必要がある。

- (2) ケアマネジャーの「シャドウワーク」がケアマネ資格保持者の非就業や定着率の低下に影響を及ぼしています。シャドウワークの削減は社会保障審議会や介護保険部会でも論議されている課題です。具体的な例を挙げてシャドウワークを説明しなさい。（配点 2）



(3) 主任ケアマネジャーはケアマネジャーの上位資格として位置づけられ、ケアマネジャーのケアマネジメントの質の向上のための指導・支援を行い、地域ケアマネジメントの中核を担っています。主任介護支援専門員の資格と配置要件について、適切なものを2つ選びなさい。(配点 1×2)

① 主任ケアマネジャー研修の受講は、過去にケアマネジャーの実務経験が5年以上あれば、介護支援専門員証の期限の有無は関係ない

--	--

② 主任ケアマネジャー研修に必要な実務経験は、ケアマネジャーの資格取得後であれば、特養等の生活相談員、地域包括での社会福祉士といった実務経験が含まれる

③ 主任ケアマネジャー研修要件には、認知症や虐待、医療依存度の高いケースといった困難事例対応や、他ケアマネジャーに指導的役割を果たしたかの実績が求められる

④ 主任ケアマネジャーは、所属する事業所のケアマネジャーが作成するケアプランの承認と監督の役割を持っている

⑤ 地域包括支援センターの職種配置において、保健師または看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャーの各1名以上の配置が必須である

3. 訪問介護の現状と課題について、以下の問いに答えなさい。 <福祉サービス分野> (6)

(1) 訪問介護の役割について、誤っているものを2つ選びなさい。(配点 1×2)

--	--

① 訪問介護事業者は、独居高齢者や老老介護の世帯に訪問を行い、日頃から状況を把握していることから、災害時や緊急時において地域のセーフティネットの役割を持っている

② 高齢者の医療依存度の高まりと共に、訪問看護や居宅療養管理指導へのニーズが高まり、訪問介護の全体的な訪問件数は年々減少傾向にある

③ 近年の傾向として、75歳未満の前期高齢者は、独身者や「介護する家族が近くに居ない」という理由から、これまでの在宅生活志向を施設生活志向が上回っている

④ 訪問介護における特定事業所加算は、介護福祉士の配置割合、常勤のサービス提供責任者の配置などで加算が左右される

⑤ 緊急時訪問介護加算は、ケアマネジャーの依頼により24時間体制で緊急対応する。この体制を設けている事業所への信頼は高くなる

(2) 訪問介護の収益が上がらない理由の1つに、サービス単価の高い身体介護よりも、生活援助のニーズが高いという傾向が考えられます。

その理由を【介護保険制度、自立支援、要介護度の高まり、施設入所、訪問看護、通所サービス】の中から言葉を2つ使用して答えなさい。(配点 2)

【介護保険制度、自立支援、要介護度の高まり、施設入所、訪問看護、通所サービス】から2つ使用

(3) 訪問介護は、「単独訪問による心身の負担」、「移動時間の未評価」、「ワークライフバランスの確保」という三つの大きな課題を抱えています。これらは若手離職の主な要因となり、組織的な人材育成を困難にしています。訪問介護の現場における「定着率向上」に向けたあなたのアイデアを述べなさい。(配点 2)

例) 新人スタッフなどが孤立感を感じないように、管理者やサービス提供責任者による定期的な面談やミーティングを行う

4. 地域密着型サービスについて、以下の問いに答えなさい。 <福祉サービス分野> (4)

(1) 地域密着型サービスと地域密着型通所介護の事業所要件や地域における役割について、誤っているものを2つ選びなさい。(配点 1×2)

① 地域密着型サービスは、原則、事業所がある市町村の被保険者に限られている。

② 地域密着型サービスの事業所指定や指導監査は、高齢者数や認知症高齢者の割合、地域資源の偏在を把握する都道府県が行う

--	--

③ 地域密着型サービスには、定期巡回・随時対応型訪問介護看護や小規模多機能型居宅介護、グループホーム、定員29人以下の特養ホームなどがある

④ 地域密着型通所介護を行えるのは、定員が20人以下の小規模デイサービスである

⑤ 地域密着型通所介護は、地域包括ケアシステムに位置づけがあり、地域包括支援センターや地域の自治会、民生委員、ボランティアとの連携が期待される

(2) 地域密着型通所介護の利用について、利用者側から見たメリットを答えなさい。(配点 2)

【利用者】 例) 認知症高齢者にとって落ち着いた環境で過ごすことができ、手厚い介護を受けられる



5. 指定を受けた有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅、ケアハウスといった特定施設は、在宅生活と施設入所の間を繋ぐ受け皿としての役割があります。

特定施設入居者生活介護や住所地特例制度について、以下の問いに答えなさい。 <複合問題（福祉サービス、介護支援）>（5）

（1）特定施設、特定施設入居者生活介護の特徴や人員配置について、誤っているものを2つ選びなさい。（配点2）

① 特定施設入居者生活介護は、都道府県から指定を受けた特定施設において、介護、医療、生活支援を包括的に提供する。

--	--

② 特養ホームや老人保健施設の運営は法人に限られるのに対し、特定施設は株式会社も参入することができ、要介護度による入所基準も柔軟である。

③ 特定施設入居者生活介護の指定を受けた施設では、ヘルパーやデイサービスなどの外部事業者と入居者が個別契約によりサービスが提供される。

④ 入居定員が29名以下の小規模な施設は、特定施設ではなく地域密着型特定施設に区分され、指定や監督が異なる。

⑤ 特定施設の人員配置基準は特養ホームと同じであり、入所者3人に対して職員1人以上、看護師、管理栄養士、嘱託医も同様に配置が必須である。

（2）住所地特例制度は、介護保険施設等に入所したことで住民票上の住所が変わっても、介護保険の保険者は入所前の市町村となる制度です。

保険者がA市となるものを全て答えなさい（配点2）

① A市在住 → B市に住民票を移した後に、同市内のグループホームに入所した

② A市在住 → B市の介護付き有料老人ホームに入所、住民票を移した

③ A市在住 → B市の老人保健施設に入所 → 退所後、息子夫婦の住むB市で同居した

④ A市在住 → B市の老人保健施設に入所 → 退所後、B市の一般型のサービス付き高齢者住宅に入居した

⑤ A市在住 → B市の老人保健施設に入所 → C市の特別養護老人ホームに転居し住民票を移した

--

（3）住所地特例制度がある理由を説明しなさい。（配点1）

--

6. 高齢者の疾患について、以下の問いに答えなさい。 <保険医療>（6）

（1）高齢者の疾患とその疾患を判断する時の数値項目・数値について、（ ）内に適切な答えを以下の語群から選び、アルファベットを書き入れなさい。

（配点1×4）

疾患	基準となる数値項目	数値項目の説明
糖尿病	（①）：6.5%以上は糖尿病型 5.8～6.4%は境界型で生活習慣の見直しが必要	平均的な血糖値を示す
慢性腎臓病	（②）男性：0.7～1.1mg/dL 女性：0.5～0.8mg/dL	腎臓のろ過能力を示す血液検査値
肺炎	（③）：0.3mg/dL以上で上昇の目安となり、1.0mg/dL以上で炎症が強く要注意	体内で炎症や感染が起こると上昇する
低栄養	（④）：3.5g/dL未満	血液中に最も多いタンパク質
高血圧症	収縮期／拡張期：140／90mmHg以上	血管にかかる圧力が最も強い時とかからない時の数値

【語群】

a. CRP b. 赤血球数 c. ヘモグロビンA1c d. インスリン e. アミノ酸 f. ロイシン g. アルブミン h. クレアチニン

（2）糖尿病や慢性腎臓病、高血圧症などの慢性疾患は、脳梗塞や心筋梗塞、狭心症の重大なリスク要因になります。これらの慢性疾患が脳血管疾患や心疾患を引き起こす理由を答えなさい。（配点2）

--

7. FASTは、脳梗塞を早期発見するための観察方法です。脳梗塞は時間との勝負のため、短時間で異変に気づくためのチェック項目としてFASTが用いられます。脳梗塞の早期発見について、以下の問いに答えなさい。

<保険医療>（4）

（1）脳梗塞を疑いがある時、患者のどこを観察しますか。右図に観察する箇所を1つ丸で囲み、どのような状態を観るかを答えなさい。（配点1）

--





(2) 脳梗塞の疑いがあった時、本人への対応について答えなさい。医療職への連絡、申し送りや救急連絡は周囲のスタッフに任せるものとします。(配点 2)

--

(3) FAST の「T」は time ですが、この「T」において、ケアスタッフが最も取るべき行動を答えなさい。(配点 1)

--

8. 認知症の病気や症状について、以下の問題に答えなさい。 <保健医療> (4)

<A 様 80 歳 介護 1 / A 様ご家族からの相談>

ある日、あなたが勤める居宅介護支援事業所に、担当利用者 A 様の娘様から電話で相談がありました。娘様は他県で夫の家族と暮らしています。

娘様：「母が一人暮らしで、いつもお世話になっています。お正月に帰省したところ、母の様子が以前とすっかり変わっていて慌ててお電話しました。

母は認知症が始まったのだと思います。一人暮らしはもう難しそうなので施設に入って欲しくて、ケアマネさんに母が入居できる施設を探して欲しいのです」

あなた：「(①)」

娘様：「母は自分から話すことが少なくなっていて、会話も単調です。物忘れが少しあるようで、表情や反応も乏しくなっています。何をしても動作が遅く、
足も前に出づらいです。

(1)

万一、家で転ぶと私もすぐには行けないし、正直、私にも生活があります。ご近所に迷惑もかけられないので、施設に入ってくれたら私も安心です」

あなた：「お話くださりありがとうございます。娘様のお気持ちはよく分かりました。まずは主治医の先生に相談して認知症の症状であるか診断を受けては

どうでしょうか。お薬で症状を抑えられる場合もあります。施設入所の検討も良いですが、認知症状が落ち着けば自宅での生活継続の可能性も

あるかもしれませんよ」

(1) A 様の症状から予測できる認知症の病気は何ですか。最も当てはまる病名を答えなさい。(配点 1)

--

(2) A 様が患っている認知症で、他の認知症と比べて特徴的な症状を 2 つ答えなさい。(配点 1×2)

- ① 認知症状は緩やかに進行するが、日内や日差での症状の変動は大きい
- ② 初期から感情失禁や意欲低下がみられやすい
- ③ 初期に記憶障害は軽く、人格変化や社会的行動障害が顕著となる
- ④ 視野の空間認識ができなくなり、注意力が低下することで転倒や怪我をしやすくなる
- ⑤ ADL の低下、姿勢が不安定になり転倒が増える

--	--

(3) ケアマネジメントをおこなう上で、相談者のニーズの本質を捉えることが大切です。相談援助の場面では、相談者自身が気づいていない潜在しているニーズを明確にする作業が必要になります。娘様の潜在ニーズを引き出すために、上記、①の場面で、あなたは相談援助技術の何を用いてニーズを引き出しますか。相談援助技術を 1 つ答えなさい。(配点 1)

例：受容と共感

--

9. 成年後見制度と在宅における高齢者虐待の背景について、以下の問いに答えなさい。 <福祉サービス分野> (5)

(1) 成年後見制度の申し立てや後見人の現状、後見人の役割について、文章内の () に当てはまる正しい答えを 1 つ選びなさい。(配点 1)

後見の申し立てができるのは、本人、配偶者、4 親等内の親族、(a.) である。(a.) の申し立ては家族

からの虐待が原因で行うケースが多い。成年後見は、(b.) により決定される。後見人となる人で多いのは (c.)

であり、家族や親族は減少している。一方で、市民後見人は増加している。後見人の役割の二本柱に財産管理と (d.) がある。

これは、介護サービスや入退所時の契約、入退院の手続き、住居の賃貸借契約、生活必需品の購入契約まで多岐に渡る。

- ① a. 地域包括支援センター b. 家庭裁判所 c. 任意後見人 d. 身上監護
- ② a. 地域包括支援センター b. 簡易裁判所 c. 法人後見 d. 権利擁護
- ③ a. 市町村長 b. 簡易裁判所 c. 任意後見人 d. 権利擁護
- ④ a. 市町村長 b. 家庭裁判所 c. 専門職後見人 d. 身上監護

--



- (2) 在宅における虐待に経済的虐待があり、これには潜在化・長期化しやすいという危険があります。経済的虐待の潜在化・長期化はどのような背景から起こるのか、本人と家族（介護者）それぞれの要因を考えなさい。本人が認知症でなくとも経済的虐待は起こるため、多角的な視点で答えなさい。（配点 1×2）

【本人の要因】 例：認知症による判断力の低下で、自身に不利益な状態になっていても理解、主張ができない

【家族の要因】例：介護ストレスの矛先が金銭管理に向かい、本人に必要なものにお金を制限する

- (3) 成年後見における市民後見人が増加している理由を答えなさい。（配点 2）

10. 介護予防・日常生活支援総合事業について、以下の問いに答えなさい。 <介護支援分野> (5)

- (1) 介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)について、() に言葉を入れて文章を完成させなさい。（配点 1×3）

介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)の運営主体は (①) であり、福祉・介護の窓口や (②) で対象者の判定、利用相談を行う。
総合事業には、基本チェックリストの基準を満たした事業対象者と (③) の認定を受けた者を対象とする介護予防・生活支援サービス事業があるデイサービスは、事業対象者への緩和型サービス(サービス A)と、(③) への従来型サービス(現行相当)を一体的に提供可能である。

①	②	③
---	---	---

- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業について、誤っているものを 2 つ選びなさい。（配点 1×2）

- ① 緩和型サービスは運営主体が独自に、サービス内容や料金、人員の配置基準などを定めることができる
② 緩和型サービスは、従来型サービスと比べてサービス単価が安い傾向にある
③ 緩和型サービスは、人員配置を専門職のみに限定せず、多様な担い手が支援する仕組みとなっている
④ 従来型サービスを実施する事業者への報酬は、介護保険の介護給付から支払われる
⑤ デイサービスにおいて、従来型と緩和型のサービスを一体的に提供する場合、人員配置は緩和型の基準に合わせて良い

--	--

11. 高齢者の死因の中で、心疾患は悪性新生物に続き 2 番目に多い病気です。特養ホームに入居している A 様（80 歳）は心疾患の既往があります。

A 様と介護スタッフのやりとりを元に、以下の問いに答えなさい。 <事例問題／保健医療> (5)

A 様： 飲みものを制限されて、塩分も控えてご飯はおいしくない。なぜ水分を飲んだらいけないの？

(1)

スタッフ：水分、塩分の取り過ぎは心臓に負担をかけてしまいます。お体のために守っていきましょう

A 様： 心臓の病気をしてから何をするのも億劫、自分の体の変化についていけない

(2)

スタッフ：思うように体を動かすことができず、もどかしいと思います。少しずつ歩いたり、日頃の生活の中で自然に体を動かしたりしましょう。

- (1) 心疾患による心機能の低下に対し、水分、塩分の摂取量に適切な管理が重要とされています。その理由を答えなさい。（配点 2）

--

- (2) 心機能の低下によって起きる症状を 1 つ挙げなさい。（配点 1）

--

- (3) 心疾患がある高齢者に対して、誤った対応を 2 つ答えなさい。（配点 1×2）

- ① 入浴前に倦怠感の訴えがあったのでバイタルを測定、異常はなかったが入浴の代わりに清拭を提案した
② 心疾患がある人は脱水を招きやすいので、水分の過度な制限はかえって心機能を悪化させてしまう
③ 水分量の適切な管理を行うため食事の際、内服時のお水は水分として測り、食事は水分から除外して水分チェックを行った
④ 心疾患の人は、便秘よりも下痢の方が急変リスクを伴うため、日頃から食事や水分、排泄リズムに気をつける
⑤ 1 日の水分量の目安は、体重 50 k g の人であれば 1 k g に 25ml を乗算して 1,250m l として考えることができる

--	--